

令和7年8月19日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 令和7年8月19日（火曜日）

午後2時30分から午後3時40分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

教育長	金澤 俊道	委 員	熊倉 達也	委 員	大久保 真紀
委 員	廣川 佳予子	委 員	恩田 富太		

4 欠席者

なし

5 職務のため出席した者

子ども未来部長	星野 麻美	教育部参事（科学博物館長事務取扱）	金垣 孝二
教育総務課長	佐藤 陽子	教育施設課長	野崎 敏行
学務課長	大竹 美加	学校教育課長	中村 一幸
学校教育課主幹兼管理指導主事	佐々木 潤	学校教育課主幹兼管理指導主事	小嶋 修
学校教育課主幹兼管理指導主事	本間 祐史	中央図書館長	梅沢 一茂
子ども政策課長	松木 祐子	こども家庭センター副所長	高野 理恵
保育課長補佐	土田 富士夫	学校教育課企画推進係長兼指導主事	大田 克

6 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	山内 清美	教育総務課庶務係長	今井 香
----------	-------	-----------	------

7 会議の経過

(金澤教育長) これより教育委員会 8 月定例会を開会します。

◇日程第 1 会議録署名委員の指名について

(金澤教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、廣川委員及び熊倉委員を指名します。

◇日程第 2 議案第 36 号 令和 6 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について

(金澤教育長) 日程第 2 議案第 36 号 令和 6 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について を議題とします。事務局の説明をお願いします。

(佐藤教育総務課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(熊倉委員) 評価報告書の内容から、教育委員会の自己評価に対して、適切であるという大枠の評価をいただいたと受け取れます。施策の進行や遂行状況が適切に行われている点や、教育を受ける立場で受益者である子どもたちを中心に施策を考えて実行している点について評価をいただいております。嬉しく思います。例年、事務評価委員からの意見として出ている行政間連携や教育委員会の活動の広報方法については課題であり、一気に解決することは難しいことですが、着実な手を打っていきべきだと考えます。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(恩田委員) じっくりと拝読をして、今後の教育委員としての勤めにどのように生かしていくか、勉強をさせていただきます。

(廣川委員) 全体を通した評価や意見をいただいたなかで、特に今後の改善点ではたくさん課題をいただいている箇所があります。一般市民にとっても教育現場の変化が大きな関心事になっていることが市民の方により関心を持って見ていただけるように、ニーズに合わせたアプローチなど、具体的なアクションを毎年少しずつ起こしていけたら良い

と思います。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定しました。

◇日程第3 議案第37号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

(金澤教育長) 日程第3 議案第37号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定についてを議題とします。

(金澤教育長) それでは、定例会前に実施したヒアリングを踏まえ、各表彰候補者について、被表彰者として適しているか否かを決定したいと思います。対象者は、条項第3号の1名、第5号の1名、第6号の4名、第7号の3名、第11号の1団体です。全員を「適」として決定してよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) それでは全員「適」と決定しました。

◇日程第4 議案第38号 附属機関委員の委嘱について

(金澤教育長) 日程第4 議案第38号 附属機関委員の委嘱についてを議題とします。
事務局の説明をお願いします。

(佐藤教育総務課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定しました。

◇日程第5 議案第39号 条例改正の申出について (長岡市保育園条例の一部改正について)

(金澤教育長) 日程第5 議案第39号 条例改正の申出について (長岡市保育園条例の一部改正について) を議題とします。事務局の説明をお願いします。

(土田保育課長補佐) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(廣川委員) 現在の十日町保育園の園児数と、閉園した後に子どもたちが通う園について教えてください。

(土田保育課長補佐) 園児数は全員で10名で、今年度卒園する5歳児が6名、一歳児と二歳児が各2名です。今後の転園先については、近くの岡南こども園に転園するお子さんが多い状況です。入園の申し込みがこれから始まりますので、その後決定する予定です。

(金澤教育長) 他に御質疑、御意見はいかがでしょうか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定しました。

◇日程第6 議案第40号 条例廃止の申出について(長岡市立幼稚園条例の廃止について)

(金澤教育長) 日程第6 議案第40号 条例廃止の申し出について(長岡市立幼稚園条例の廃止について) を議題とします。事務局の説明をお願いします。

(土田保育課長補佐) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(廣川委員) 与板幼稚園の閉園に関連して、与板地域の子育て支援施設が与板幼稚園の一区画で活動をされていますが、子育て支援施設は引き続き与板幼稚園の敷地で活動を続けるのですか。

(松木子ども政策課長) 子育ての駅については、今年度末に、新しい場所として、私立与板こども園に移転する予定です。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議あ

りませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案の通り決定しました。

◇日程第7 議案第41号 条例制定の申出について（長岡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について）

(金澤教育長) 日程第7 議案第41号 条例制定の申出について（長岡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について）を議題とします。事務局の説明をお願いします。

(土田保育課長補佐) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(大久保委員) 詳しくお伺いしたいのですが、保育園や幼稚園に通っていない人が保育園等に通えるという制度だと思いますが、子育て施設のように親と一緒に利用するのではなく、子どもだけが通うということでしょうか。

(土田保育課長補佐) 基本的には、子どもだけが通います。

(大久保委員) 例えば、里帰り出産で長岡に帰省している方の受け入れについても大丈夫なのですか。

(土田保育課長補佐) 現在、国の方で、広域利用として市町村に関わらず利用できるように検討している段階です。

(大久保委員) 受け入れは、定員に満たない余裕がある施設に通えるということですか。

(土田保育課長補佐) 支援事業専門で運営する事業所と、空きがある範囲の中で受け入れる事業所の2種類があります。

(大久保委員) 来年度からのこの新事業の情報について、該当する方には届いていますか。

(土田保育課長補佐) 現時点ではまだ情報としては少ないと思います。国の制度が確定していない段階であることから、決まり次第、広報などをしたいと考えています。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(廣川委員) 一般型と、余っている施設を使うという二つのパターンがありますが、一

般型は新規の事業者を募る形になるのでしょうか。

(土田保育課長補佐) 新規として長岡市で想定しているのは、現在、保育園を運営している事業者の中から募ることで進めています。全く経験のない事業者から募集をすることは考えていません。

(廣川委員) 事業者となるのは、保育園を運営しているところを想定しているのですか。

(土田保育課長補佐) 認定されている保育園、こども園からと考えています。

(廣川委員) 幅広く告知して募るのですか。

(土田保育課長補佐) 既に告知をしており、現在、希望の段階で、20 園が手を挙げています。現在は希望という段階で確定はしていないため、国の条件が出て、認定されてからの公表になります。

(廣川委員) 予定される公表日はいつ頃になりますか。

(土田保育課長補佐) 想定としては1月を目安としていますが、国が確定する時期によるため、正式に確定はしていません。

(廣川委員) 国の条件が確定してから急ピッチで整えて、令和8年の4月に告知ができる段階で進めることを想定しているということですね。

(金澤教育長) 利用できる上限時間もまだ確定してはいないのですか。

(土田保育課長補佐) 目安としては10時間とされていますが、確定はしていません。

(星野子ども未来部長) 何も確定してはいない状況ですが、先行で実施している自治体も県内でもあります。先行自治体からはいずれも芳しい評判を聞かない制度になります。

(廣川委員) 調べると、大阪などが大々的に出てきますね。

(星野子ども未来部長) 子どもが園に慣れるまでに時間がかかることや、他の子と同じように見ることが難しいなど、現場の負担が大きいと、現場のことも考えながら様子を見ているところです。一方で、令和8年4月から始めなくてはならない事業のため、覚悟をしながら準備を進めています。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(恩田委員) 保護者の就労要件なしで利用できることは素晴らしいと思いますが、どのような要件を満たすと利用できるのですか。

(土田保育課長補佐) 現段階では、年齢要件が生後半年から三歳までと決定しています。

(恩田委員) 保護者も家庭事情や社会的な立場などがあると思います。そのような面についての制限はあるのでしょうか。

(土田保育課長補佐) 家庭状況の制限は全くありません。

(星野子ども未来部長) この制度自体が「子どものために」という視点で制度設計されており、子どもが社会性を身に付けることなどを主眼に置いている制度です。そういう意味では、家庭状況や保護者の状況については考えていない制度になっています。

(恩田委員) そういったフィルターなしに誰でも利用者として利用できる場合、反社会的な方などが利用することもできるということとなると思います。利用する際に書面などのやりとりはあるとは思いますが、少し気がかりで伺いました。子どもの権利ファーストという趣旨は非常に納得するところですし、親の立場で差別してはいけなというところは共感します。

(星野子ども未来部長) この制度ではなく、現状として園に入園する時も、そういった面での条件はないですね。

(土田保育課長補佐) ありません。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定しました。

◇日程第8 議案第42号 補正予算の要求について

(金澤教育長) 日程第8 議案第42号 補正予算の要求について を議題とします。
事務局の説明をお願いします。

＜歳入・歳出予算＞

(佐藤教育総務課長) ＜資料に基づき説明＞

(金垣教育部参事) ＜資料に基づき説明＞

(松木子ども政策課長) ＜資料に基づき説明＞

(高野こども家庭センター副所長) <資料に基づき説明>

(土田保育課長補佐) <資料に基づき説明>

<繰越明許費>

(金垣教育部参事) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(廣川委員) 二点あります。まず、25 万円の図書充実のための寄附者は匿名ですか。

(佐藤教育総務課長) 匿名です。

(廣川委員) もう一点は、大河津分水の工事に入る前の発掘調査ですが、広大な敷地の蛇塚竹花遺跡については具体的に何が埋まっているのか等は分かっているのでしょうか。

(金垣教育部参事) おそらく平安時代以前、縄文や弥生時代の遺跡ではないかと思いますが、実際に発掘してみないと分かりません。もしかしたら違うものが発掘される可能性もありますが、試掘では遺跡が発掘される見込みであるということで予算を計上しています。遺跡があることは間違いありませんが、出土品によっては年代が変わると思います。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定しました。

(金澤教育長) 以上をもちまして、議案の審議を終了します。

(金澤教育長) 続きまして、報告事項に移ります。令和7年度 全国学力・学習状況調査結果概況について は公表前であることや、公表しない内容が含まれているため、非公開が適当ではないかと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

—会議規則第20条第2項の規定により公表しない—

(金澤教育長) 次に、次期長岡市教育振興基本計画の策定について 事務局の説明をお願いします。

(佐藤教育総務課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 次に、令和7年度 第1回長岡市図書館協議会報告について 事務局の説明をお願いします。

(梅沢中央図書館長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(恩田委員) 「タブレットを活用した電子書籍サービスに対して電子図書館の導入を検討していきたい」とありますが、電子図書館というのは具体的にどのようなイメージをされていますか。

(梅沢中央図書館長) 例えば電子書籍の子ども向けの読み放題パックでは、子どもたちが同時に同じ本が読めるという機能があります。400冊ほどを用意し、内訳として子どもに人気のある本や調べ学習に使える本を用意することで、各小中学校の児童生徒が同時に利用できる、というような想定をしています。また、一般向けにも何千冊かを用意することを想定しています。

(恩田委員) 「箱は存在しないが、どこからもアクセスできる図書館」というイメージですね。

(梅沢中央図書館長) どこにいても、また、時間にも制約がないというメリットがあります。一方で、電子書籍の価格は通常の本より3倍ほどの値段になることや、「50回貸出をすると本が無くなる」など、一般的な電子書籍と図書館用の電子書籍では制度が違う面もあったりすることから、様々な観点から検討を進めています。

(恩田委員) ミライエ長岡の互尊文庫では、設置されているW i - F i に繋ぐと、雑誌を無料で読むことができますが、そのように便利にはならないということですか。

(梅沢中央図書館長) 互尊文庫では、フリーマガジンが閲覧できるサービスを提供してい

ます。現在検討している中では、雑誌も同時に見られるサービスもありますので、同時進行で検討しています。

(恩田委員) 雑誌や図書にしても、あくまでも選定は子どもたちのために行い、事業者任せにはならないということでしょうか。

(梅沢中央図書館長) 図書館司書が選定しており、事業者にお任せということはありません。長岡の子どもたちと、長岡市民を含め、良いものができることを目指しています。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 次に、令和7年度 第1回長岡市水族博物館協議会報告について 事務局の説明をお願いします。

(金垣教育部参事) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 次に、令和7年度 第1回長岡市子ども・子育て会議報告について 事務局の説明をお願いします。

(松木子ども政策課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(廣川委員) アドバイザーからの講評に、「子どもの意見を聞くことが重要であるが、意見を言うことは意外と難しい。」とあります。子どもたちは、年齢が違っていると持っている言葉も違うと思います。子どもたちの言葉を大人たちが受け止め、どのように実現をしていくのか。これからの私たちにとても大きなテーマをいただいていると思います。大事にしていきたいと感じました。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(恩田委員) 先日、子ども条例の制定に伴い、子どもたちの意見をヒアリングする機会に立ち会わせていただきました。そういった場に参加する児童生徒は意識が高く、色々な考

えを提示してくれますし、良い意見であると思いますが、多数の意見ではないと思います。今後、子どもの声を聞く機会を設ける際は、意識の高い子どもたちだけではなく、一般的な意見を出してくれる子どもの参加もあると良いと思います。また、主な意見として、「放課後子ども教室を無料として継続可能なのか。」という意見が出ています。今後、参加者の費用の負担が必要であるとの意見に対して、現状として有料にする必要があるかなど、事務局ではどのように考えていますか。

(松木子ども政策課長) 現状としては地域に委託料を支払いその中で活動・運用をさせていただいています。材料費などの実費については負担いただいています。それ以外は委託料の中で活動をするようになりますので、それ以上の実費についての負担は考えていません。

(恩田委員) 有料化するとなった時には、その判断は地域にお任せする形になりますか。

(松木子ども政策課長) 委託事業として実施しているものであるため、有料とする際には市全体で考える必要があると思いますので、地域に全部一任とはならないと考えます。

(恩田委員) 無料であることで助かる家庭もあると考え、慎重に検討が必要などころだと思いました。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(金澤教育長) その他、御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) これをもちまして、協議報告事項を終了します。

(金澤教育長) それでは次に、催し案内等について説明願います。

(中村学校教育課長) <資料に基づき説明>

(梅沢中央図書館長) <資料に基づき説明>

(金垣教育部参事) <資料に基づき説明>

(高野こども家庭センター副所長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 催し案内について、御質疑、御意見はありますか。

(大久保委員) 寺泊水族博物館の「アクアリウムは踊らない×寺泊水族博物館 スペシャ

ルコラボイベント」は面白いイベントだと思いますが、どのような繋がりで今回の企画となったのですか。

(金垣教育部参事) 作者が新潟県出身の方で、任天堂スイッチ2の発売に併せ、寺泊水族博物館とコラボしたいとの申し出がありました。地元の作家の方であり、実際のゲームの中に寺泊水族博物館も出てきます。市民向けに楽しい企画をしたいとの思いもあり、コラボ企画を実現させていただきました。

(恩田委員) 自分の子どもがこのゲームをしているのでとても興味があります。多少ホラー要素もあるゲームですが、今回のコラボ企画を楽しみにしています。

(金澤教育長) このゲームは人気があるのですか。

(金垣教育部参事) 知る人ぞ知るというゲームで、ファンが多いと聞いています。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(金澤教育長) 長岡地域こども標本作品展者の中から、科学博物館の標本展に出展する子どもはいますか。

(金垣教育部参事) 今回はいませんでした。

(金澤教育長) 発展的に繋がっていくといいと思います。

(廣川委員) 発達支援講座で、現在大学3年生のLDの方が対談に来て下さるということですが、実現の経緯について教えてください。

(高野こども家庭センター副所長) 今回の講座は親子で参加いただく講座なのですが、昨年から、発達障害のお子さんの養育経験があるお母さんがペアレントメンターとして相談を受けるという試みをしています。昨年度の発達支援講座で講師をしていただいたお母さんから、「自分の息子を交えて対談をしませんか」という提案があり、昨年からのようなことが出来たら良いと話していたこともあって決まった企画です。

(廣川委員) 実際の当事者のリアルな話を聞けると勇気づけられ、伝わると思います。良いタイミングで実施する良い企画だと思います。

(金澤教育長) 他に報告事項はありませんか。

(金澤教育長) これをもちまして本日の定例会は閉会します。ありがとうございました。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員